

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	5	0	・用具等の置場が少ない
	②	職員の配置数は適切であるか	5	3	1	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	5	3	・トイレに段差あり ・見守り、手添え等の配慮を行っている
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	1	5	3	・パート職員の月1回のスタッフミーティング参画は少ないのでは ・活動会議を導入していく
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	2		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	1	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	6	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1	4	4	・研修、講習の情報提供を行い、相对協力しながら質の維持をする
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	4	0	・アセスメントルールの活用 ・様々な視点から支援計画をたてていく
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	4	3	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	5	0	・活動会議を更に充実させて
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	2	0	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	5	0	・長期休暇はイベントを盛り込み、普段できない活動を盛り込んでいる
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	3	1	・集団活動が中心なため、個別活動は行っていない。現在は集団活動のなかで、個々の能力にあわせた個別化を図っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	4	1	・常勤者で行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	4	4	・シフト制のため、行えていない。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	3	1	・現在行っているものでよいか検討し、改善できるところがあれば改善する。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	6	0	・個別支援、モニタリングは定期的に行うことができている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	7	0	・ミーティングで読み合わせを行う
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	3	0	・参画している
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8	1	0	・行っている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	7	2	・保護者を通して、情報を得ている。今後医療的知識を習得するためにも主治医等との連携は図りたい ・保護者を仲介して連携を取るよう心掛けている
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	7	2	・行えていない
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3	3	・現在のところ該当者はありません
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	2	・受けていない
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	0	8	・ない
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	5	3	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	3	0	・持っている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	5	4	・行えていない
	保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	4	0
㉑		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	2	0	・今後も知識やスキルを向上し、適切な助言が出来るよう努める
㉒		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	4	・年に一度、保護者会を開催

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	4	0	・そのような場面はないが、今後あらゆることを想定してマニュアル作成を行う	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1	0	・ささえ便りで周知している	
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	7	1	1	・メール等個人情報の取り扱いには今後注意していく	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	3	0	・スタッフで今後も話し合いを行い取り組んでいく	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	3	6	・行っていない	
	非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	3	4	・マニュアルを周知徹底する
		③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	4	3	・年二回の避難訓練を必ず行うようにする ・利用児全員が参加できるようにプログラムを組む
④⑩		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	4	2	・権利擁護研修へ全員が参加する	
④⑪		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	4	3	・身体拘束の三つの条件をよく理解していく ・必要な場合は支援計画に盛り込む ・同意書を作る等の対応を行う	
④⑫		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3	1	・いない	
④⑬		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	0	5	・小さなことでも書面にて記録していく	